



EDB Postgres Advanced Server Release Notes

リリース **13**

unknown

2020 年 12 月 30 日

目次

第 1 章	インストーラーとドキュメント	3
第 2 章	サポートされているプラットフォーム	5
第 3 章	コンポーネント認証	7
第 4 章	EDBPostgresAdvancedServerv13 の機能	9
4.1	コミュニティ PostgreSQL13 アップデート	11
4.2	問題を報告する方法	11

この EDBPostgresAdvancedServer13 のリリースで、EnterpriseDB は、商業品質、使いやすさ、互換性、スケーラビリティ、および小規模または大規模のパフォーマンスを備えた革新的で低コストのオープンソース派生データベースソリューションを提供する世界で唯一の企業としてリードし続けています規模の企業。

EDBPostgresAdvancedServer13 は、オープンソースの PostgreSQL13 上に構築されており、データベースをより効率的な方法でスケールアップおよびスケールアウトできるようにする無数の拡張機能を導入しています。PostgreSQL13 には、パフォーマンスの大幅な改善があります。これには、インデックス作成およびロックアップシステムの改善、拡張統計を使用する場合のクエリプランニングのレベルアップ、集計またはパーティションテーブルを使用するクエリのパフォーマンスの向上、PostgreSQL データベース内のアクティビティを監視する方法の追加が含まれます。また、並列化されたバキューム処理、インクリメンタルソートなどの要求の高い機能に加えて、PostgreSQL13 には他にも多数の新しい機能や機能があります。

EDBPostgresAdvancedServer13 には、開発者と DBA を喜ばせる多くの新機能が追加されています。

- 自動 LIST パーティショニング
- HASH パーティションテーブルの作成中の PARTITION number または SUBPARTITION number 句
- パッケージ本体の前方宣言
- CREATE INDEX 構文には列名と定数が含まれます
- CREATE TABLE と ALTER TABLE の USING INDEX 節
- EDBLoader が一意の制約違反を処理します
- STATS_MODE 集約関数
- utl_http.end_of_body 例外のサポート
- EDBLoader は、-c または CONNSTR オプションの接続パラメーターをサポートします

第 1 章

インストーラーとドキュメント

EDBPostgresAdvancedServer13.0 は、Windows 用の対話型インストーラーとしてパッケージ化されて提供されます。EnterpriseDBWeb サイトにアクセスします。

<https://www.enterprisedb.com/advanced-downloads>

Linux 用の RPM パッケージは、以下から入手できます。

<https://repos.enterprisedb.com/>

Debian/Ubuntu パッケージは、次からダウンロードできます。

<https://repos.enterprisedb.com/>

EDB リポジトリにアクセスするために必要な資格情報を要求するには、次のサイトにアクセスしてください。

<https://www.enterprisedb.com/repository-access-request>

ドキュメントは EDBWeb サイトで提供されています。

<https://www.enterprisedb.com/edb-docs/>

第 2 章

サポートされているプラットフォーム

EDBPostgresAdvancedServer13.0 インストーラーは、64 ビット Linux および Windows サーバープラットフォームをサポートします。AdvancedServer13.0RPM パッケージは、次の 64 ビット Linux プラットフォームでサポートされています。

- RedHatEnterpriseLinux (x86_64) 7.x および 8.x
- CentOS (x86_64) 7.x および 8.x
- OEL (x86_64) 7.x および 8.x
- CentOS/RHEL7.x を実行する PPC64LE8

EDBPostgresAdvancedServer13.0 ネイティブパッケージは、次の 64 ビット Linux プラットフォームでサポートされています。

- Debian9.x および 10.x
- Ubuntu18.04 および 20.04

グラフィカルインストーラーは、次の 64 ビット Windows プラットフォームでサポートされています。

- Windows2019
- WindowsServer2016

サポートされているプラットフォームに関する追加情報は、EDBWeb サイトで入手できます。

<https://www.enterprisedb.com/services-support/edb-supported-products-and-platforms>

第 3 章

コンポーネント認証

EDBPostgresAdvancedServer13.0 リリースには、次のコンポーネントが含まれています。

- BART2.6
- クローンスキーマ 1.14
- コネクタ JDBC42.2.12.3、ODBC12.02.0000.02、.NET4.1.5.1、OCI13.0.3.1
- Edb-Modules1.0
- EDBPlus39.0.0
- EFM4.0
- Hdfs_fdw2.0.7
- Mongo_fdw5.2.8
- MySQL_fdw2.5.5
- MTK54.0.0
- パラレルクローン 1.8
- PEM7.16
- PgAdmin4.27
- PgAgent4.2.0
- PgBouncer1.14
- PgPool4.1.2
- PostGIS3.0.2
- 手続き言語パック–PL/Perl5.26、PL/Python3.7、PL/TCL8.6

- Slony2.2.8

第 4 章

EDBPostgresAdvancedServerv13 の機能

このリリースの主なハイライトは次のとおりです。

- 自動 LIST パーティショニングは、LIST パーティショニングキーの新しい個別の値に対してデータベースが自動的にパーティションを作成できるようにする LIST パーティショニングの拡張機能です。データが LIST パーティションテーブルに挿入され、挿入された値が既存のテーブルパーティションのいずれとも一致しない場合、新しいパーティションが作成されます。
- MEDIAN 集約関数に追加の smallint、int、bigint、numeric バリエーション。
- 列名と番号、つまり (col_name, 1) を含む CREATE INDEX 構文のサポートが追加されました。
- ディレクトリの所有者を変更するサポートが追加されました- ALTER DIRECTORY <dir_name> OWNER TO <role_name>。
- CSV および XML 監査ログの一貫性が確保されました。CSV 形式と XML 形式の監査ログのフィールド数に違いがあることが確認されています。現在、監査ログは両方の形式で一貫しています。
- dbms_output のデフォルトの動作は Redwood との互換性があります。デフォルトでは、Oracle の dbms_output 動作は off です。EPAS では、常に on です。このリリースでは、EPAS は GUC を追加して DBMS_OUTPUT パッケージのデフォルトの動作を制御します。
- 処理されたステートメントの数を edb_log_every_bulk_value で記録できます。現在、バルク実行中、EPAS は edb_log_every_bulk_value が off のときに処理された行の数を識別しませんでした。この機能により、EPAS は監査ログファイルとサーバーログファイルの両方にそれを記録できます。これは、このような場合のログを分析するのに役立ちます。
- 以前は、一意の制約違反のためにレコードの挿入が失敗した場合、EDBLoader は操作全体を中止しました。これは、投機的挿入を使用して行を挿入することで修正されます。handle_conflicts（新しいパラメーター）が true でインデックスが存在する場合、この動作が強制されます。
- SYSDATE はより互換性のある方法で動作するようになりました。SYSDATE の出力はネストレベルごとに変化するため、同じ SQL クエリ内の SYSDATE の複数のコピーは毎回同じ値を返します。SYSDATE は、同じプロシージャ内またはネストされた関数呼び出し内の連続するステートメントで変更されます。

- CREATE TABLE と INDEX の PARALLEL [n] | NOPARALLEL オプション。AdvancedServer は、CREATE TABLE、ALTER TABLE、CREATE INDEX、および ALTER INDEX コマンドで PARALLEL [n] | NOPARALLEL 句をサポートするようになり、インデックスまたはテーブルの並列処理を有効または無効にします。
- テーブルの作成中に PARTITION [n] または SUBPARTITION [n]。この機能により、サブパーティションレベルで [n] ハッシュパーティションを自動的に作成できます。
- EDBLoader は、すべての接続パラメーターをサポートします。EDB ローダーの -c または CONNSTR オプションを使用して、libpq でサポートされている接続パラメーターを指定できます。これには、SSL 接続パラメーターが含まれます。
- STATS_MODE 関数は一連の値を引数として取り、最も高い頻度で発生する値を返します。同じ頻度で複数の値が表示される場合、STATS_MODE 関数は最初の値を任意に選択し、その 1 つの値のみを返します。
- DBMS_SQL 関数/プロシージャのサポートが追加されました (DEFINE_COLUMN_LONG 、 COLUMN_VALUE_LONG 、 LAST_ERROR_POSITION)。
- 関数 to_timestamp_tz () のサポートが追加されました。
- パッケージ本体内の関数/手順仕様のサポートが追加されました。
- to_number 機能に FM 形式のサポートが追加されました。
- DBMS_CRYPTO パッケージに AES192 と AES256 のサポートを追加しました。
- to_char(timestampz, text) 機能にスペルモードのサポートが追加されました。
- NEW/OLD 変数と STATEMENT レベルのトリガーイベントを持つ WHEN 句を持つ複合トリガーの作成を許可します。強化された Redwood 互換ビュー。
- クライアント認証に成功すると、pg_hba.conf の一致した行をログに記録します。リレーシオンの relfilenode が data ディレクトリにない場合、pg_catcheck をテストしてエラーを発生させるように拡張しました。
- utl_http.end_of_body 例外のサポートが追加されました。この機能は、end_of_body 例外を utl_http パッケージに宣言し、応答本文にデータが残っていない場合に read_line、read_text、および read_raw パッケージプロシージャから同じものをスローします。
- UNIQUE および PRIMARYKEY 制約句に CREATEINDEX ステートメントが追加されました。この新しい構文により、ユーザーは fillfactor などの明示的なインデックス詳細を指定できます。制約で指定された列とインデックスで指定された列は同じでなければなりません。

Oracle データベースと互換性のある AdvancedServer 機能については、次のガイドを参照してください。

- *OracleDeveloper'sSQLGuide* のデータベース互換性
- *Oracle* 開発者リファレンスガイドのデータベース互換性

- *Oracle Developer's Built-in Package Guide* のデータベース互換性
- *Oracle Developer's Tools and Utilities Guide* のデータベース互換性
- データベース互換性テーブルパーティションガイド
- データベース互換性ストアドプロシージャ言語ガイド

4.1 コミュニティ PostgreSQL13 アップデート

EDBPostgresAdvancedServer13.0 は、コミュニティのすべての PostgreSQL13 機能を統合します。コミュニティ PostgreSQL プロジェクトと貢献者の名前に対する変更の完全なリストを確認するには、次の PostgreSQL13 リリースノートを参照してください。

<https://www.postgresql.org/docs/13/release-13.html>

4.2 問題を報告する方法

新しいソフトウェアのインストールで問題が発生した場合は、次のテクニカルサポートにお問い合わせください。

- メール:support@enterprisedb.com
- 電話番号:

米国:+1-732-331-1320 または 1-800-235-5891

英国:+44-2033719820

ブラジル:+55-2139581371

インド:+91-20-66449612